



中春別小学校
学校便り

窓

第11号

発行責任者 校長 荒 雅 樹
平成31年1月31日 発行

1日1日充実した3学期を

1月18日に、23日間の冬休みが終了し、3学期がスタートしました。久しぶりに、校舎の中に子ども達の声が響き、活気ある学校になりました。

始業式では、そのスタートに当たり、子ども達に話をしました。

3学期も皆さんにお願いしたいことは、大きく2つあります。

1つは、2学期よりも、いい挨拶ができるように、よりいい勉強ができるように、よりいい仕事ができるように、より自分から頑張ってもらいたいことです。2つは、「自分の気持ちや考えを言葉で伝えあったりすることをとても大事にしてほしいことです。

例えば、勉強が分からなくなった時には、「分からない。分からない。」と呟くだけではなく、「分からないので、教えてください。」と伝えてみましょう。また、一人でできなくて困った時には「誰か、手伝ってくださいませんか。」と言いましょ。あるいは、困っている子がいたら、「大丈夫。どうしたの?」と声を掛けてみましょう。・・・そういうことがたくさん出来るようになると、皆でがんばることができるようになります。

そうすると、きっと今よりも素晴らしい中春別小学校になっていきます。とっても楽しみです。3学期、お互いに1日1日頑張らましょ。

3学期は、今の学年のまとめの時期であると同時に、次の学年へ向かっていく準備をする期間です。2学期よりも、より高い目標をもって頑張ることと伝え合うことを日々大切にしていきたいです。

1月24日に、冬休みの作品発表会がありました。学級代表4名がしっかり発表する姿や発表者の話を集中して聞こうとする姿がありました。特に、発表者と聞き手が、一つになった瞬間が何度もあったことが印象的でした。例えば、けん玉の発表した時のことです。実際に作ったけん玉をやってみました。ところが、1回目は、うまく玉が皿に乗っかりませんでした。すると、「あ〜。」「おいしい。」「がんばれ。」などと子ども達から声があがりました。2度目の挑戦。今度は、うまく乗っかりました。すると、「やったあ。」などの声や拍手が沸き起こりました。まさに、発表者と聞き手が、一つになった瞬間でした。このような子ども達を通じ合う姿を大事にしていきたいです。



昨日、今シーズンの校内スケート記録会を行いました。子どもたちが自分の力量に見合った距離で自己記録更新を目標に、最後まで一生懸命滑りました。その姿に感心すると同時に子ども達の上達ぶりに驚きました。スケートの刃をまっすぐ立てて滑れるようになっていたり、膝を柔らかく使いリズムよく滑走できるようになっていたりなど今シーズンでの子ども達の頑張りの成果を見ることができました。また、滑る選手に「がんばれー。」「負けないで。」「最後までがんばれー」と応援する子ども達の声もリンクに響きました。とてもいいスケート記録会を行うことができました。

応援、お手伝いをいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。また、これまでリンクの維持・管理の中心となり活動していただいた運営委員会の皆様、散水・除雪にご協力いただいたPTA会員の皆様に心より感謝を申し上げます。

スケートは北国ならではのスポーツです。プール同様、学校から歩いて数分で行ける場所にこのような立派な施設で運動ができる中春別の子ども達はとても幸せです。

(1月31日 校長 荒 雅樹)